

介護事業所でフットケアレク、足爪施術者育成につなげる

横浜市で爪切りや、巻き爪補正などのフットケア施術を行う「足爪専科」の北村久美子代表は、「札幌フットケアサロンまや」の安岡茉耶氏と共催し、足爪施術者育成セミナーを10月4日、5日の2日間開催した。

1日目は北村代表による講義、デモンストレーション、施術者同士でのフットケア実践等を実践。2日目は札幌市手稲区にある手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所(中里哲夫管理者)で実習を行った。手稲あんじゅで月1回開催しているレクリエーションと連携し、利用者のフットケアを受講者が担当。足爪施術者育成と、利用者の足元の健康とリラクゼーションを両立し、相互利益の高いイベントとなった。

北村代表は年間延べ2,000人以上の施術実績を持つフットケアのスペシャリスト。技術向上を望むフットケアサロン経営者やフットケアを学びたいという看護師ら6人が札幌、富良野、秋田、東京、神奈川から参加した。症例をもとにどのような施術が適切かを見極める技術面はもちろん、施術者としての安全・衛生管理について特に重点をおいて指導した。

実習では、相談も合わせて12人の利用者がフットケアを受けた。受講者は北村代表の確認・指導の下、利用者とは対話しながら丁寧な施術を行い、安らぎの時間を生み出した。2年ほど足の爪を切れていなかったと話す男性利用者(72)は施術を受け「足の感覚が全然違う。とても軽くなった」と効果を実感。女性利用者(81)も「綺麗にしてもらって気持ちもパツと晴れたみたい」と笑顔を見せた。

手稲あんじゅの橋本千恵副主任相談員は「利用者も満足しており、フットケアと介護のつながりもできた。今回お願いしてよかった」と話す。北村代表は「今回のセミナーを通して、技術を自分のものにし、フットケアを仕事にする人が増えたら嬉しい」と話した。



北村代表(右)指導のもと、利用者の爪切りなどを行った